

児玉郡市広域消防本部 × 埼玉北部ヤクルト販売株式会社

「熱中症対策支援及び防災・減災の普及啓発等に関する連携協定」を締結



消防長

くぼ けんいち
久保 賢一

代表取締役社長

さいとう しゅんご
齋藤 俊吾

令和8年10月9日、児玉郡市広域消防本部（以下「消防本部」という。）と埼玉北部ヤクルト販売株式会社（以下「埼玉北部ヤクルト」という。）は公民連携パートナーとして「熱中症対策支援及び防災・減災の普及啓発等に関する連携協定」を締結しました。

近年、夏場の猛暑が続く中、災害現場で活動する消防職員の熱中症対策は大きな課題となっています。また、自然災害の激甚化及び頻発化により、住民一人ひとりの防災意識や日頃からの健康づくりの重要性もますます高まっています。

このような状況を踏まえ、消防本部と埼玉北部ヤクルトが相互に連携し、それぞれが持つ人的・物的資源や知見を活用することで、消防職員の熱中症対策支援、並びに住民の皆様の防災・減災意識の向上及び健康づくりを推進し、地域の安全・安心の向上を図るため、本協定を締結することとなりました。



本協定に基づく最初の実施として、猛暑期の災害活動時における熱中症対策支援事業を実施します。

具体的な連携事業として、埼玉北部ヤクルトから提供いただく「氷」を活用した熱中症対策を行うことで、厳しい暑さの中で活動する消防職員の安全確保を図り、安定した消防活動につなげてまいります。

また、埼玉北部ヤクルトが持つ地域ネットワークやヤクルトレディによる訪問活動を活かし、火災予防をはじめとする防災啓発や健康づくりに関する情報発信など、地域住民への普及啓発活動についても共同で取り組んでまいります。

さらに、イベント等においても連携し、消防だけでは届けきれない情報を、より多くの住民の皆さまへ届けることで、防災・減災意識の向上と健康増進につなげていきます。



本協定を出発点として、相互の強みを活かしながら地域課題の解決に取り組み、地域の安全・安心の確保に一層貢献できる関係を築いてまいります。